

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市道前ヶ崎・向小金1号道路拡幅事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	02	03	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	道路建設課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	小野 満寿夫			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・児童	意図	歩道整備による安心、安全な歩行空間を確保する。
事業内容	歩道未整備区間である向小金福祉会館前から旧たけの子ルーム前までの約170m区間における歩行者の安全確保を目的に幅員2.5mの歩道整備を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度から事業に着手し、平成27年度に工事は概成しており、平成30年度は墓地共有地の用地を取得し、所有権移転並びに登記手続を実施した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整備率	98	98	99	%	↓↓↓	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成27年11月に工事概成したが、地権者同意が一部未処理である。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,550,110	3,356,000	2,222,989				
事業費(b)(円)		8,117,610		1,563,789				
うち一般財源		8,117,610		1,563,789				
職員給与費(c)(円)		3,432,500	3,356,000	659,200				
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VI 縮小（改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	関係者へ事業協力要請を行い、事業完了に向け、確実に事業を進める。	③取組における課題(Check)	事業協力を得られない地権者に対し、協力要請手法の検討が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	墓地共有地の所有権移転等の登記手続を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	未買収用地地権者に対し、隣接他事業と連動し、地域の道路環境向上が図られつつあることを旨説明し、当該事業への理解を求める。